

製品名: MGST1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13873**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	18kDa

抗原情報

遺伝子名	MGST1
別名	MGST1; GST12; MGST; Microsomal glutathione S-transferase 1; Microsomal GST-1; Microsomal GST-I
遺伝子 ID	4257.0
SwissProt ID	P10620
免疫原	抗血清はヒト MGST1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 42-91

背景

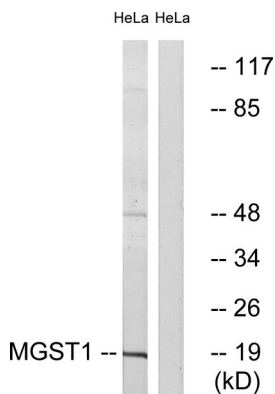
MAPEG（エイコサノイドおよびグルタチオン代謝における膜関連タンパク質）ファミリーは、6つのヒトタンパク質から構成され、

そのうち2つは炎症の重要なメディエーターであるロイコトリエンおよびプロスタグランジン E の産生に関与しています。グルタチオン S-トランスフェラーゼおよびペルオキシダーゼ活性を示す他のファミリーメンバーは、毒性、発がん性、および薬理活性を持つ求電子化合物に対する細胞防御に関与しています。この遺伝子は、グルタチオンの求電子化合物への抱合および脂質ヒドロペルオキシドの還元を触媒するタンパク質をコードしています。このタンパク質は小胞体およびミトコンドリア外膜に局在し、これらの膜を酸化ストレスから保護すると考えられています。この遺伝子には、非タンパク質コードおよびタンパク質コードを含む複数の転写バリエーションが見つかっています。 [RefSeq 提供、2012年5月],触媒活性: $RX + \text{グルタチオン} = HX + R\text{-S-グルタチオン}$ 。酵素調節: 精巢を除き、N-エチルマレイミドによって活性化される。機能: 還元型グルタチオンを、様々な外因性および内因性の疎水性求電子剤と抱合する。幅広い基質特異性を有する。類似性: MAPEG ファミリーに属する。サブユニット: ホモ三量体。組織特異性: 肝臓で高発現。

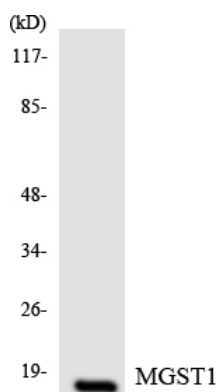
研究分野

グルタチオン代謝;シトクロム P450 による異物代謝;薬物代謝;

画像データ



MGST1 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MGST1 抗体を使用した RAW264.7 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。